



朝比奈 健太 (あさひな けんた)

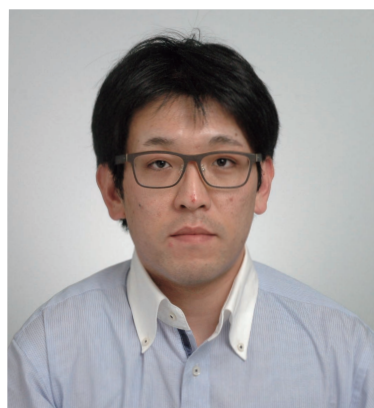
地圏資源環境研究部門 燃料資源地質研究グループ

2017年4月より、任期付研究員として地圏資源環境研究部門燃料資源地質研究グループに配属となりました。朝比奈健太と申します。私は2012年3月に筑波大学で学位を取得後、北海道大学と関西学院大学を経て、現在に至ります。5年ぶりにつくば市に戻り、故郷に帰った気分で新生活を送っています。

私は、有機化学の実験手法を用いた有機地球化学に関する研究を行ってきました。これまでに、石油探鉱に有用な有機物組成を用いた指標の開発や古環境解析に利用できる指標分子の創出を行ってきました。また、有機化学の持ち味である“ものづくり”の技術を利用して、精密な分析には欠かせない標準物質の合成も行っています。

これからの石油探鉱や未だ成因が解明されていない石油資源を解明する上で、有機物組成を用いた指標は、欠かせないツールです。今後は、これまでの

研究経験を活かし、新たな指標の構築や石油探鉱に必要な情報を提供することで、探鉱技術の向上、さらには石油関連企業の発展に貢献していきたいと思っています。皆様、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



三澤 文慶 (みさわ あやのり)

地質情報研究部門 海洋地質研究グループ

2017年4月より、任期付研究員として地質情報研究部門海洋地質研究グループに配属となりました。三澤文慶と申します。私は東海大学海洋学部を卒業し、東京大学大学院新領域科学研究科の修士課程を経て、2013年3月に同大学院博士課程を単位取得退学、その後2014年9月に学位を取得しました。2013年4月から3年間は地質コンサルタント会社の物理探査セクションで勤務し、2016年5月より海洋地質研究グループにて産総研特別研究員として勤務し、現在に至ります。

専門は海洋地質学で、特に反射法地震探査を用いた海底下地質構造の研究を行っております。これまでの研究対象地域は相模トラフおよびスマトラ北西部沖です。

今後は、沖縄海域の海洋地質調査プロジェクトにて、南西諸島海域の海洋地質研究および海洋地質図の作成を行います。また、GSJには多様な分野の研

究者がいらっしゃいますので、自分自身も研究の視野を広げ、研究を進めたいと考えております。今後とも、ご指導・ご鞭撻の程、何卒よろしくお願ひ申し上げます。





阿部 朋弥 (あべ ともや)

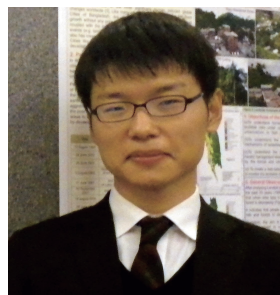
地質情報研究部門 平野地質研究グループ

2017年4月より、任期付研究員として平野地質研究グループに配属となりました。阿部朋弥と申します。私は、首都大学東京地理学教室を卒業し、2015年3月に名古屋大学地理学教室にて学位を取得しました。2013～2014年度は、研究指導委託学生として東北大学津波工学研究室に所属しました。学位取得後は、京都大学地質学鉱物学教室でのポスドクを経て、2016年4月から海洋地質研究グループにポスドクとして所属しました。

専門は、堆積学と地形学で、特に、自然災害イベントに伴う碎屑粒子の堆積過程と第四紀における沿岸域の地形発達史に関心があります。研究手法は、地形・堆積物の野外調査や碎屑粒子の形状解析、GISを用いた空間解析などを用いてきました。学部から博士課程にかけては、2011年東北沖津波や2013年台風ハイランなどの近年の津波・台風や歴史津波に伴う堆積作用について研究しました。学

位取得後は、京都大学で津波堆積物を用いた津波水理条件の逆解析法、産総研で沿岸海域の地質構造と活構造について研究しました。

今後は、沿岸域プロジェクトに関わり、第四紀堆積物の露頭調査やボーリング調査に基づき、沿岸域の地質構造や第四紀地殻変動を明らかにし、活断層評価や海陸シームレス地質図、陸域地質図の作成に貢献していきたいと思っています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



中村 友梨江 (なかむら ゆりえ)

地圏資源環境研究部門 CO₂ 地中貯留研究グループ

2017年4月より地圏資源環境研究部門・CO₂ 地中貯留研究グループに産総研特別研究員として配属となりました中村友梨江と申します。学部から博士課程までは東北大学に在籍し、2017年3月に学位を取得いたしました。専門は鉱物学と結晶学です。これまでは単結晶X線回折法を主な手法として用い、低対称を示すガーネットの結晶構造と内部組織の対応からその成因と結晶成長の関係について結晶化学的な研究をしてきました。ガーネットは宝石としても利用される主要な造岩鉱物の1つであり、鉱物学・結晶学的にも多様なほか人工の希土類ガーネットはYAGレーザーに代表されるように無機材料として広く利用されています。ありふれた、非常に興味深い、広い分野で盛んに研究されている鉱物です。

これから産総研ではCO₂ 地中貯留におけるCO₂ の炭酸塩鉱物化について地球化学的な研究に取り組

むこととなります。私にとっては今までと異なる分野の研究ですが、初心に帰って勉強と研究に励み、新しい知識と技術を習得していきたいと考えています。みなさま、どうぞよろしくお願いいたします。

